# 社 会

## 品質・食品安全方針

お客様からの信頼を第一に、法令・規制などの社会的規範の遵守はもとより、お客様の期待やニーズを満足させることができるように、品質マネジメントシステム、食品安全マネジメントシステムを継続的に改善し、次のことを実現します。

**お客様に品質で選ばれ、選んでいただいたお客様に満足でお応えする、人々のこころを満たし続ける企業を目指します。**

1 製品の設計・開発、製造、納入、サービス、提案に至るまで、一貫した品質保証を実施します。
2 お客様の視点に立った、製品の設計・開発を推進します。
3 お客様に安心してご使用いただける製品を提供します。
4 食品安全、品質向上を目指す文化の醸成を進めます。

この品質・食品安全方針を達成するため、部門別に品質・食品安全目標を設定し、実行します。
この品質・食品安全方針には見直しの枠組みを与え、社員に広く通知して、意識向上を図ります。

2011年10月12日制定
2024年02月26日改定

## 品質向上への取り組み

### 食品安全マネジメントシステム「FSSC22000」

当社は、食品安全マネジメントシステム「FSSC(Food Safety System Certification)22000」の認証を、生産部門(本社生産管理部、および全国4ヵ所の工場)にて取得しています。また、外部環境の変化に伴い、認証制度とともに当社の食品安全のレベルも継続的に向上させています。

### 品質保証体制の充実

コーヒーの味わいにこだわり、衛生管理を徹底することすべてが、お客様にコーヒーのおいしさを提供し喜びで満たしていくためのサービスの一環と考えています。

**(1)おいしさをお届けする**

生産地から工場での焙煎加工までに複数回のカップテストを行い、厳しい品質基準に適合した原料生豆のみを使用。当社独自の焙煎プロファイルを開発し、コーヒー豆が本来持つ味わいを最大限に引き出しています。

**(2)衛生管理を徹底**

全国4ヵ所の工場では、「HACCP(Hazard Analysis and Critical Control Point)」の発想を取り入れ、「ホワイトゾーン=清潔作業区域」「ブルーゾーン=準清潔作業区域」「イエローゾーン=通常作業区域」「レッドゾーン=外気と同等」の4つのゾーンに分け、区域ごとに適当な空気調和を行っています。

**(3)定期監査の実施**

当社が求める品質レベルを実現するために、自社工場や協力工場への定期監査を実施しています。

工場監査では、当社基準に基づくチェックリストを用いて、工場構内・製造現場での監視体制や防虫防鼠対策、異物混入防止に関するルール(私物持ち込み制限、薬品管理)などが適正に実行されているかを監査し、リスク低減を進めています。

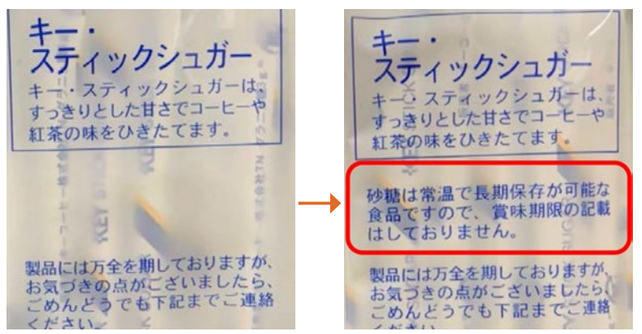
### 分かりやすい表示への取り組み

商品をお客様に安心・信頼してご利用いただくためには、商品に正確で分かりやすい表示を記載することが必要と考えています。

**商品パッケージへの表示例**




袋内のコーヒーがインスタントコーヒーではないことを表示




スティックシュガーに賞味期限が記載されていない理由を表示

## 責任ある購買・調達方針

私たちは、コーヒー、その他原料、資材、商品等を購買・調達する際の条件として、品質、機能・性能、価格、納期といった項目だけでなく、人権、労働、環境、腐敗防止等の社会課題に関連する項目への取り組みも考慮し、サプライチェーン全体を通じて企業の社会的責任を果たしてまいります。

1 品質とゆたかさの向上
1920年の創業以来の経営理念である「品質第一主義」を支えるキーコーヒーの基準を満たすコーヒー、その他原料、資材、商品等を適正な価格で購買・調達します。
これらの取引は、法令・ルールを遵守するとともに、健全な商習慣に従い、取引に関わる全てのサプライチェーンの発展及びゆたかさの向上に貢献します。

2 人権の尊重・労働者の安全と健康の確保
関係各国の法令のもと、透明な購買・調達活動を実施するとともに、人権に関係する国際規範を支持尊重した上で、強制労働、児童労働、あらゆる差別等の人権侵害を排除した購買・調達を推進します。
また、取引を通じて、サプライヤーの皆様の労働者に対し、快適な作業環境が形成され、安全と健康が確保されていることを確認し、取引に関わる全てのサプライチェーンにおける労働災害防止に配慮します。

3 環境への配慮
コーヒー、その他原料、資材、商品等が生産できる持続可能な環境実現に向け、森林、土壌、生物多様性の保全に十分配慮し、企業としての責任を果たす購買・調達を推進します。

4 公正な取引
お取引先の信頼に背くことのないように、一人ひとりが日々自らに問い、行動するために「キーコーヒーの行動規範」を定めています。サプライヤーの皆様と公正かつ倫理的な取引を行うため、法令を遵守することはもとより、国際通念や社会のルールに沿った購買・調達を推進します。

2023年03月27日制定

## 責任ある購買・調達の推進と公正な取引の推進

当社は、ビジネスパートナーにサプライヤーガイドラインを公開するとともに本内容にご賛同いただけるよう説明会を行い「CSR調達セルフ・アセスメント質問表」によるアンケートや面談を実施。サプライチェーン全体で課題に対する改善活動を行っています。また、公正な取引を推進すべくコーヒー栽培農家と密にコミュニケーションをとり、高品質なコーヒーを作るパートナーとして協働を進めています。



### 人にも自然にも優しいコーヒー

当社は持続可能な生産を目指し、人にも自然にも優しいさまざまなコーヒーを販売しています。




（左から）「レインフォレスト・アライアンス認証農園産コーヒー」「有機栽培コーヒー」「フェアトレードコーヒー」

## 人権の尊重と働きやすい職場環境

企業活動を行ううえで、ステークホルダーの尊重と共生は不可欠です。当社ではすべてのステークホルダーとの共生を目指すとともに、人権の尊重と従業員にとって働きやすい環境の整備に取り組んでいます。

### 人権方針

**人権に関する基本的な考え方**

私たちは、「心にゆたかさをもたらすコーヒー文化を築いていこう」という企業理念の実践を通じ、すべてのステークホルダーの皆様とともに社会や環境との共生に取り組みながら、事業の成長を成し遂げていきたいと考えます。

私たちは事業活動に関わるすべての人の人権を尊重する責任があることを認識し、以下の国際的な規範等に基づき、その責任を果たしてまいります。

- 「国際人権章典」
- 「労働における基本的原則および権利に関するILO宣言」
- 「国連グローバル・コンパクトの4分野10原則」
- 国連「ビジネスと人権に関する指導原則」
- 日本政府「『ビジネスと人権』に関する行動計画」

私たちは人種、民族、国籍、宗教、信条、出身地、性別、性的指向、性自認、年齢、障がい等に基づく差別及びハラスメントの禁止、安全かつ健康的な労働環境の提供、結社の自由、団体交渉権、公正な報酬、児童労働・強制労働の禁止等の人権尊重の取り組みを推進していきます。

このことを社内外に明示するために、人権方針（以下、「本方針」）を定めます。

**適用範囲**

本方針は、当社グループすべての従業員及び役員に適用します。

その上で、当社グループのサプライヤー等ビジネスパートナーの皆様にも、本方針の支持をお願いします。

**人権尊重の実行**

1 当社グループの事業活動が人権への負の影響を直接に引き起こしたことが明らかとなった場合はもちろん、取引関係等を通じた間接的な関与が明らかとなった場合も、人権を侵害された人の救済に取り組みます。

2 当社グループの事業活動を行うそれぞれの国・地域において人権に関する法規制を遵守します。さらに、人権に関する社会の要請に、真摯に対応していきます。

3 本方針をグループ全体の事業活動に組み込み、効果的に実行できるよう、事業方針等に反映します。

4 当社グループの全体で人権尊重に取り組み、その効果を高めるため、責任者を明確にし、各計画の策定と実行、結果の評価と是正・改善を繰り返していきます。

2023年03月27日制定

## 従業員のエンゲージメント向上とダイバーシティの推進

当社では、持続可能な成長と発展には人的資本の価値を最大化することが重要であるという認識のもと、「人的資本に対する考え方」および、それに則った「人財育成方針」「社内環境整備方針」「健康経営方針」を定めるとともに、人的資本経営に取り組む「人財開発課」と全社横断で人選した「ウェルビーイングプロジェクトチーム」が中心となって、エンゲージメント向上とダイバーシティ推進に向けたさまざまな活動を展開しています。

### 人的資本に対する考え方

私たちは、持続的な企業の成長と発展を実現するために、従業員一人ひとりが持てる能力やスキルを引き出し、企業価値を最大化する経営に取り組みます。従業員の心身の健康はその基盤であるとの認識のもと、健康経営は長期的な経営戦略の一環であると考えます。

そして、企業・従業員の両者が、コーヒーのリーディングカンパニーとしての理念やビジョン、ミッションを共有し、しっかりとした帰属意識と相互の信頼のもと、共通する目的を果たしていくことで、人々の心にゆたかさが溢れる社会を創り上げることができると考えます。

従業員のエンゲージメント向上とダイバーシティの推進、そして健康と働きがいの両立を支える仕組みの整備を通じて、様々な立場の従業員が主体性を発揮し、イキイキと働きがいを持って成長・発展し続けることのできる組織集団への進化を目指します。

**＜人財育成方針＞**

1 キーコーヒービジョンを実現し続けるために、企業と従業員が継続的な対話を通じてそれぞれの存在意義・価値を認め合うことで共に成長します。

2 主体的意欲を刺激するアップスキリングの機会を提供し、情報に敏感なビジネス人財及び専門性の高いコーヒーのプロを育成します。

3 従業員一人ひとりの多様性を受け止め、活躍を促し組織の発展に繋げることのできる、求心力のあるマネジメント人財を育成します。

**＜社内環境整備方針＞**

1 予測不能な変化が続く環境において企業の適応力と可能性を広げ続けるために、多様なキャリアイメージの形成及びその実現を長期的に支援します。

2 誰もが働きやすい職場環境とするために、有給休暇の取得率向上等、従業員の生活の基盤を安定的に確保するための施策を実施し、柔軟な働き方を促進します。

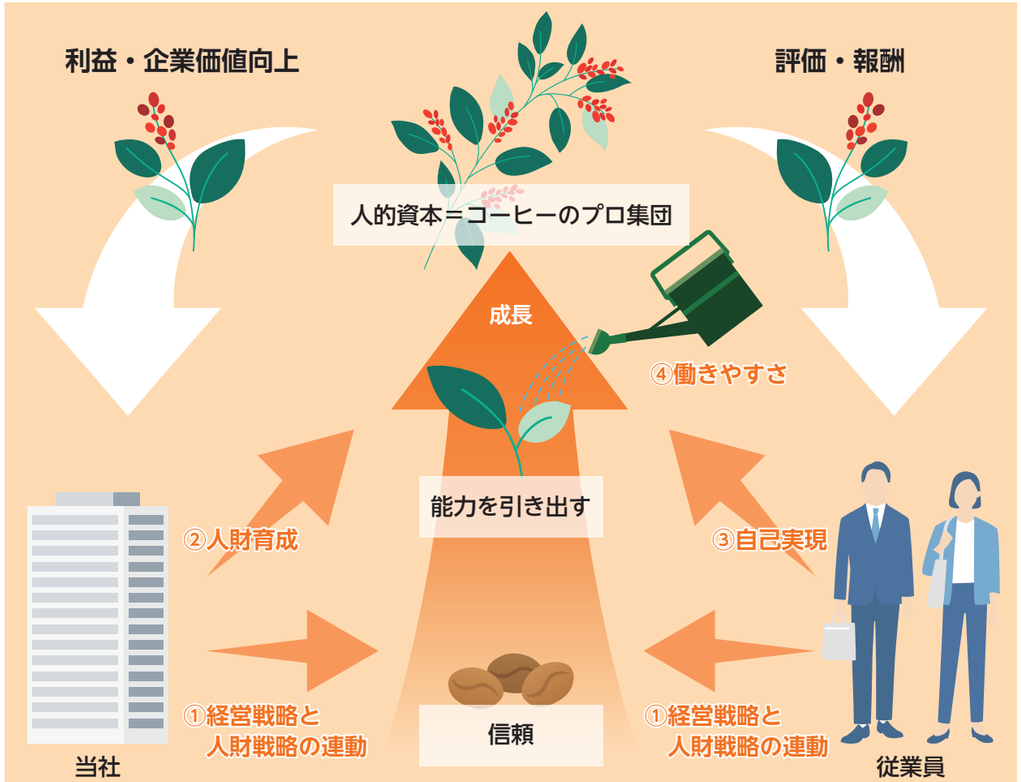
**＜健康経営方針＞**

1 従業員の心身の健康を、持続的な企業の成長と発展の重要な基盤と位置づけ、健康経営を長期的な経営戦略の一環として推進します。

2 定期健康診断の受診およびストレスチェックの受検を全従業員に推奨・徹底し、これらを会社の責務として確実に遂行します。従業員が心身ともに健康保持・増進することでパフォーマンスを最大化させ、それを安定的に発揮できる環境づくりを通じて、組織全体の基盤強化を図っていきます。

3 人こそが企業の最大の競争力であるという考えのもと、働きがいと健康の両立を支援する取り組みを推進し、あらゆるステークホルダーの皆様からの信頼に応えていきます。

2023年03月27日制定
2025年10月01日改定




## 人財育成方針

### 研修制度・資格制度

従業員の「学び続ける意欲」に応えるために、コーヒーに関する研修制度や、コーヒーについての高度で専門的な知識を身に付け、語ることのできる人財になることを目的に各種社内資格制度を設けています。各種研修・資格制度はライフステージやキャリア別に実施し、従業員の段階的な成長に寄与しています。


各種研修や資格試験の様子

### オリジナル学習プラットフォームの配信

“「いつでも」「どこでも」「何度でも」学習ができる”をコンセプトとした、オリジナル学習プラットフォーム「KEYラーニング」を配信しています。社員の自主学習に役立つ情報を集約し、「情報に敏感なビジネス人財」かつ「専門性の高いコーヒーのプロ」である“キーコーヒープロフェッショナル”の育成を目指しています。



「KEYラーニング」ロゴ

## 社内環境整備方針

### 多様性確保に向けた人財育成

経営の中核を担う管理職層において、一層の多様性の確保が必要と考え、次の目標設定をします。

中途採用については、契約社員や有期雇用社員の正社員登用、異業種からのキャリア採用、経営幹部候補となり得るマネジメント人財の採用に取り組んでいます。また、海外を含む関連会社での人財活用は、当社の理念を深く理解する各社がそれぞれ運営することを基本とし、国内外において国籍に関係なく成果をあげた人財を積極的に管理職に登用しています。

| | 2025年度(※1) | |
|---|---|---|
| | 実績 | 目標 |
| **管理職(※2)比率** | | |
| **①女性管理職比率** | 6.5% | 6.0% |
| **②中途採用者管理職比率** | 42.2% | 45.0% |
| **③外国籍管理職比率** | 1.3% | 2.0% |
| **④年次有給休暇取得率(※3)** | 57.3% | 60% |
| **⑤男性の育休取得率** | 57.8%(※4) | 50%(※5) |
| **⑥男女の賃金の差異(※6)** | 70.5% | 80%(※7) |

※1 実績と目標はいずれも単体
※2 管理職は課長クラス以上
※3 年次有給休暇取得率は2019年度（新型コロナ感染症拡大前）の実績の47.1%を平常時として目標設定した
※4 2023年度～2025年度の3年間平均
※5 2025年度～2027年度の3年間平均
※6 計算方法：「女性労働者の平均年間賃金÷男性労働者の平均年間賃金×100%」、平均年間賃金は「総賃金÷人員数」、賃金は、基本給、超過労働に対する報酬、役割ごとに支給される手当、住宅手当、賞与等を含み、退職手当、通勤手当等を除く
※7 2030年度までの目標



### 「特定技能制度」の活用

2024年度より、当社と縁の深いコーヒー生産国であるインドネシアから、特定技能外国人を3名受け入れています。さまざまな立場の従業員がイキイキと働くことのできる組織集団の形成に向けて取り組んでいます。



### 柔軟な働き方の推進

当社は全従業員がイキイキと働き続けるため、柔軟な働き方を可能にする制度を設けています。

**●スーパーフレックス制度**
コアタイムを設けず、午前6時から午後10時までの間で始業・終業時刻を柔軟に設定できる制度。社員(※1)の自律的な時間活用と生産性向上を図っています。

**●育児短時間勤務制度**
小学校を修了するまでの子を養育する従業員が、勤務時間を短縮して働くことができる制度。法令で定める基準を上回る対象期間を設け、育児と仕事の両立および継続的なキャリア形成を支援しています。



**●時間単位の有給休暇制度**
年次有給休暇を1時間単位で取得できる制度。社員(※2)一人ひとりの生活スタイルや通院や育児、介護、私用など突発的な用事に対応しやすい、柔軟な休暇取得を可能としています。

※1 嘱託社員を含む
※2 嘱託社員・短期契約社員を含む

### キャリア実現のサポート

当社は全従業員が理想のキャリアを実現するための支援制度を設けています。

**●副業・兼業制度**
当社での業務を本業としながら、副業・兼業への従事を認める制度。社外で培った経験や知見を当社での業務に還元することで、社員の成長と組織の活性化を図っています。

**●私事休職**
社員のキャリア形成や自己成長、ボランティア活動、家庭事情などを理由とした休職を認める制度。多様なライフステージや価値観に応じた挑戦や経験を支援し、安心して働き続けられる環境づくりを推進しています。

**●自己申告制度**
社員が自身の業務状況やキャリアに関する希望、会社へ伝えたい事項などを申告できる制度。
社員一人ひとりの声を把握し、主体的なキャリア形成と適切な配置・育成の実現を図っています。

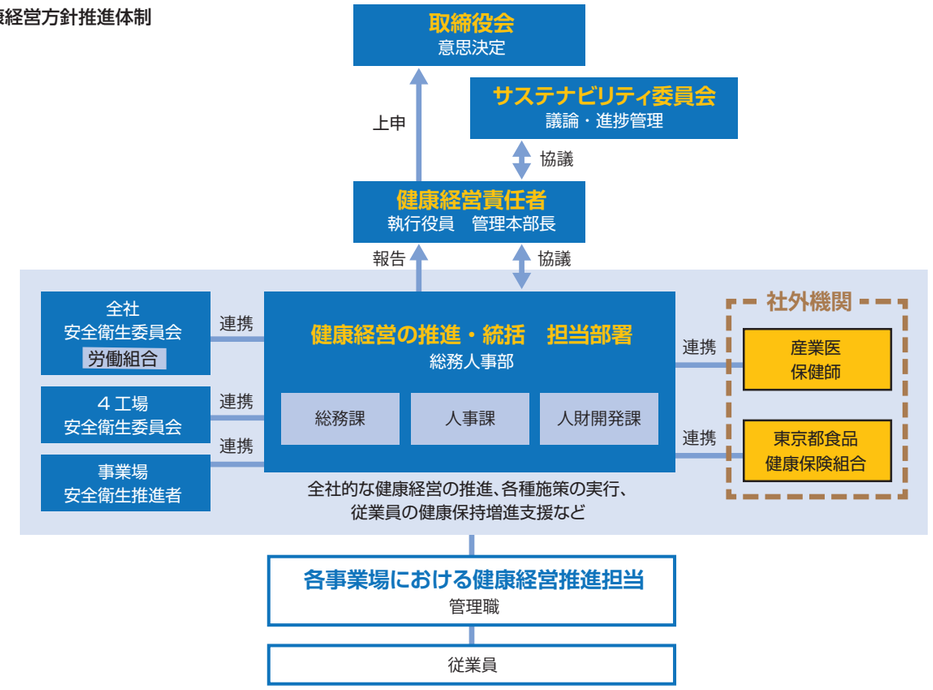
**●社内公募制度**
社内で人員を募集する部署に対し、社員が自ら応募し、選考を経て異動できる制度。自律的なキャリア選択と新たな業務への挑戦を後押しし、社員の成長と活躍の機会を広げています。

## 健康経営方針

### 「健康経営方針」を策定

2025年10月、人的資本経営のさらなる推進を目的に、「健康経営方針」を策定しました。働きがいと健康の両立を支える仕組みを整備。従業員が主体性を発揮し、成長・発展を続けることのできる企業づくりを目指しています。

**健康経営方針推進体制**




### 安全衛生委員会

安全な労働環境づくりと労働者の健康障害防止および健康増進を目的に、安全衛生委員会を月1回以上開催しています。本委員会では危険業務の削減や職業性・災害性疾病、過剰労働による健康障害の予防に向けた施策など、安全と衛生の両方の観点から目標を設定し、さまざまな施策に取り組んでいます。

### 「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定

経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人認定制度」にて、「健康経営優良法人2026（大規模法人部門）」に認定されました。当社では、今回の健康経営優良法人認定を受け、さらなる健康経営の推進に取り組んでいます。



社内で実施している「健康チェックイベント」の様子

## 地域社会との協和

### インドネシアでの取り組み

年に1度、直営パダマラン農園があるインドネシア・スラウェシ島トラジャ地方にて、生産者の栽培意欲や栽培技術向上を目的とした「KEY COFFEE AWARD（キーコーヒーアワード）」を開催しています。その年に収穫されたコーヒーを、品質や生産量など総合的な観点で選考し、良質なコーヒー生産に携わった生産者やそのエリアを表彰しています。






2026年2月に開催した「KEY COFFEE AWARD」では「ボロン」エリアを表彰。別日には同エリアにて、今回のアワード表彰を称えるためのイベントを開催。イベント内では、コーヒー栽培に関するセミナーのほか、苗木やコーヒーチェリーで作った堆肥を提供し、生産者との親睦を深めました

### 「工場直送 チャリティセール」と被災地支援

コーヒー文化の啓発と被災地復興支援等を目的に、10月1日の「国際コーヒーデー」に合わせ、本社ビル前にて「工場直送 チャリティセール」を開催しています。会場では、チャリティブレンドの販売に加え、コーヒーの試飲提供などを実施し、コーヒーを通じて社会貢献活動に取り組んでいます。

チャリティセールの売上は「キーコーヒー クレルージュ基金」からの拠出金と合わせ、国内被災地や、コーヒー生産国を中心とする海外の厳しい環境で暮らす子どもたちを支援するために寄付しています。






**キーコーヒー クレルージュ基金**…創業100周年記念日である2020年8月24日に設立された基金。キーコーヒーグループの役員および従業員の募金やイベント等のチャリティ活動を通じて、コーヒー生産国の社会福祉、自然環境の保全、また、災害救済のための支援のほか、日本国内外における災害救済や、コーヒー文化の継承、社会貢献につながる先への寄付について、支援を行っています